

奈良市公民館運営審議会会議録

令和 8 年 8 月 6 日会議

令和 8 年度第 1 回奈良市公民館運営審議会会議録		
開催日時	令和 8 年 8 月 6 日(木)午後 3 時 00 分から午後 4 時 30 分まで	
開催場所	奈良市役所 北棟6階602会議室	
議 題 又は 案 件	(1)新役員選出 (2)令和7年度公民館事業実施状況及び利用状況について (3)令和8年度公民館事業の進捗状況について (4)平城西公民館の建て替え工事について (5)奈良市社会教育推進計画改訂について (6)その他	
出 席 者	委 員	今西(遥)委員、今西(康)委員、奥村委員、河崎委員、紀委員、橋本委員、吉岡委員【計7人出席】
	事務局	教育長、教育部長、教育部次長、地域教育課長、地域教育課課長補佐、生涯学習財団事務局長、生涯学習財団事務局公益事業課長
開催形態	公開(傍聴人0人)	
決定事項	会長に今西康乃委員を選任し、副会長を奥村麻希子委員とした	
担 当 課	教育部 地域教育課	
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等		
議事の内容		
○教育長挨拶		
○会議録の署名について		
議長から今回の署名委員の指名及び確認(橋本委員と紀委員)		
(1)新役員選出		
今西(康)委員が会長に推薦され、承認された。		
会長が副会長に奥村委員を指名し、承認された。		
(2)令和7年度公民館事業実施状況及び利用状況について		
〈生涯学習財団事務局より説明〉		
【質問・意見等】 ♡:意見 ◆:質問 ◇:回答		
委員	♡富雄南公民館「♪とみなん歌声ひろば♪うたの種をまこう」において、館の垣根を越えた利用者同士の自主的な情報交換・交流が生まれている好事例があった。	
委員	◆生涯学習センターでサロンコンサートが回数を重ねて実施しているが、この事業で館を越えたつながりなどは生まれているのか。(公民館要覧13ページ)	
財団	◇利用者がまなんだことを発表する場としてコンサートを全23回開催している。コンサートをきっかけに、世代間交流や、公民館に展示されている普段関心がない分野の展示を見することで視野を広げる「思考の展開」が見られた。また開かれた公民館をめざしロビーを開放しているが、コンサートの参加者が他館の催しの情報に触れる機会ともなっている。また、自習室を利用した若者が他の事業に参加していた方とロビーで関わるなど、自然な交流が生まれている例もある。	

(3) 令和8年度公民館事業の進捗状況について

〈生涯学習財団事務局より説明〉

【質問・意見等】 ♡:意見 ◆:質問 ◇:回答

委員	♡公民館の自習室について中学生へ情報が十分に届いていない。広報を強化してほしい。
財団	◇財団ホームページに自習スペースについて掲載したところ、問い合わせが増えた。公民館だよりも掲載していく。今後学校とも連携して発信していく。
委員	◆富雄公民館「弁当持参！ランチ会」についてだが、参加者（高齢者）が自分で弁当を持参する（持ち寄り）はハードルが高いのではないかな。
財団	◇「月に2回！ツボ押しストレッチ」講座の参加者から「一緒にご飯を食べたい」という声があり、同日の昼に試行的に実施している段階。今後、参加者の声を聞きながら、弁当を一緒に作るなども視野に入れ工夫していく。
委員	◆単発事業で終わらず、利用者の声を聞いて事業が発展していく形が増えてきたと感じる。長年実施されている「プチ田舎暮らし」事業の成果はどうか。
財団	◇地域の方が地元にプライドをもって取り組んでいる。成人の方が東部へ足を運ぶといった関係人口の増加、観光資源との連携などの成果が出ている。最近では東部の子ども向けの事業にも波及しており、公民館同士や地域の方との関係づくりにも影響がある。
委員	◆長年されている若草公民館「多聞城サロン」や三笠公民館「佐保川さくら物語」には、どういった成果があったのか。
財団	◇若草公民館「多聞城サロン」、三笠公民館「佐保川さくら物語」などは、地域で埋もれがちな歴史を発掘し、小さな声を大切なものとして拾い上げ、継承するという成果や目的がある。
委員	◆公民館の利用状況について、要覧 8 ページ公民館によって件数に差があるが、住民人口で差が出ているのか、それとも他の要素があるのか知りたい。 ◆今後の自習スペースづくりについて、不登校の居場所も問題になっているが、午前中の開催なども視野にいれておられるのか。
財団	♡子どもが自分で取組内容を決めていく事業があると聞いたが、大人も同様の取組をしたいといった、利用者側の声だけでなく非利用者側も提案できる場（ホームページ上など気軽にできる場）もあればいいなと思った。 ◇原則として中学校区に1つ設置されている公民館であり、人口に影響する部分もある。他に交通面も関連していると思う。居住地と公民館が離れているところには、集会所や公民館分館などへ出向き事業を展開している。 ◇不登校の居場所も視野に展開している。例えば、令和7年に平城西公民館にて「不登校ってダメなこと?!」という当事者を交えた講演会を開催し、その課題について地域の方に考えていただき、結果として「きみのホットスペース」が生まれた（午前中に居場所づくり）。水曜日のみであったが、不登校に限らず居場所になればと毎日自習スペースを開放している。他の館でも地域性に応じて展開していきたい。 ◇大人も企画段階から考えていくことは楽しい。例えば要覧 44 ページの西部公民館の「せいぶ講座企画チーム」がある。職員がファシリテーターになり学習ニーズを

委員	引き出し、企画を講座になるまでサポートしている。市民自らが主体的に講座を企画している。
委員	△自習スペースの広報について、ホームページに掲載されても中学生は調べるのかあやしい。一人で黙々と勉強する方は塾に行くイメージがあり、みんなでワイワイ夏休みの宿題をしたい方が集まるのかなと思った。最近の中学生へはInstagram等 SNS を活用した発信が効果的ではないか。 △特色ある事業の春日公民館「卒業後の暮らしを考えよう」という事業が素晴らしい。障害児・者は自立のために頑張るあまり、余暇を楽しむことが人生設計に入っていない方が多いので、周りの支援者や地域が考える場があるのが素晴らしい。更に言えば、障害児・者自身も参加できる場になればうれしい。
財団	◇子ども奈良 CITY で中学生、高校生からも同じように SNS 広報について意見があがっている。彼らに SNS 発信内容を考えていただき、財団が発信をしている。今後公民館事業にも発展していければと思う。 ◇2月頃に実施予定のこの事業は、偶然出てきた事業ではなく、財団職員の全体研修の際に、他市町村の取組で、障がい者の方と公民館の方が一緒に事業を展開していることをまなんだことを受けて、職員の中に意識が醸成された。まなびの深みを出していければと思う。障がい者自身も参加していただくには、公民館職員だけではなく、専門の方や家族の協力を得る必要があるので、今後めざして取り組んでいきたい。
委員	△単年度事業ではなく、意義のある活動を継続して実施していただければと思う。またご報告していただきたい。

(4) 平城西公民館の建て替え工事について

〈事務局より説明〉

【質問・意見等】 △:意見 ◆:質問 ◇:回答

委員	△地域住民と行政と一緒に考えている姿がよいと思った。公民館に限らずまちづくりを住民と一緒に話し合って住民が自分たちのまちを考えていけることは大切だと思う。まちづくりに注目している。一つのモデルになっていくと思う。難しい局面もあると思うが、住民と一緒に作っていくプロセスを丁寧にしていただければと思う。またこのプロセスを記録していただけたら参考になると思う。
----	--

(5) 奈良市社会教育推進計画改訂について

〈事務局より説明〉

【質問・意見等】なし

(6) その他

【質問・意見等】 △:意見 ◆:質問 ◇:回答

委員	◆公民館審議会の委員数が少なく、また公民館自主グループの利用者が入っていないことは残念。24館全館を見るのにこの人数では難しいので、自主グループの方にも参加していただきたく、審議会委員の委員を増やすことができるのか。
事務局	◇通常は任期2年であるが、定員に対して委嘱任命数が少ないので、協議する議題に関連

	し適切な方を見つけることができれば不可能ではないと思う。
委員	△大学が公民館に協力できる事業もあるのではと思った。宮下学長が、登美ヶ丘公民館の開館 50 周年を記念して作られた「登美ヶ丘公民館のうた」の作曲を担当された経緯もある。
委員	△居場所づくりが現在 10 館で展開しているが、これから増えていくのを期待している。どういう公民館であれば来たいと思うのか。館によってターゲット層を変えてもいいのではないかと考えた。自分の地元の館には行きづらくても、他の館なら行けるとかもあるだろう。
委員	△学校に行くのが難しくても、塾なら行ける学生もいる。
委員	△そもそも、公民館のロビー改革の話から、雰囲気を変えて自習スペースにということでこの事業は始まった。地域特性や求めるものは違う。
財団	◇生涯学習センターのコワーキングルーム、自習スペースを利用した方が、利用した後もロビーにいられる雰囲気になっている。ロビーの利用率は上がってきている。生涯学習センターのロビーに他の館の情報を置くなどもしている。社会教育の専門性を活かし、地域特性やニーズを見極めていくことが必要なので、地域へ出て行って現状を把握していきたい。
委員	△居場所の話だが、今の公民館はふらっと寄れない雰囲気。勉強するため電話予約するのではなくて、ふらっといける場になればいい。暗い、狭い、暑い。母親が子どもの自習のために予約するのはハードルが高い。
委員	△コロナを経て保護者同士のつながりが薄れ、教員対保護者みたいになって、保護者同士で解決する雰囲気ではなく、対教員のようにになっている。少しもめるとすぐ学校へいく。保護者同士のつながりを生み出す場を公民館でつくっていただければと期待している。
委員	△ふらっといけるのが理想。図書館も自習室を作っているが、西部図書館と北部図書館でも雰囲気は違う。利用者は大人が多く子どもが少ない。生涯学習センターに行ったら、子どもがワイワイしていて、事業終わりの大人がふらっと話している交流の場を見た。大人もふらっと行きたい。保護者が予約するのはハードルが高い。図書館とは違う、公民館として求められていることも、提供できることも違う。ふらっと行けるところが一番。
委員	△地域には子どもが集まるとうるさいといった苦情もあるだろうけれども。
委員	△自分が知っている子どもが話をしていたら、うるさいと感じにくいので、そういう関係づくりも必要だろう。
資 料	・令和 8 年度第 1 回奈良市公民館運営審議会 次第 ・名簿「第 39 期 奈良市公民館運営審議会委員」 ・資料 1～4